

68 増養殖対策

【1, 563 (1, 370) 百万円】

対策のポイント

新たな栽培対象種の開発促進、さけ・ますの種苗放流手法の改良、低魚粉配合飼料による養殖技術の確立・普及、真珠養殖業等の連携強化、商業化に向けたシラスウナギの大量生産システムの実証、カワウ・外来魚の被害防止対策等を支援します。

<背景/課題>

我が国の漁業生産量がピーク時から半減している中で、国民に水産物を安定供給していくためには、水産物の増殖及び養殖を一層推進する必要があります。

政策目標

- 主な栽培漁業対象魚種及び養殖魚種の生産量の増大
(1,572千トン(平成24年度)→1,739千トン(平成34年度))
- 漁業被害を与えるカワウの個体数の半減

<主な内容>

1. 増殖に関する支援事業 590 (344) 百万円
 - (1) 栽培漁業総合推進事業 163 (一) 百万円

栽培漁業について、全国的な課題となっている広域種の資源造成の取組に対する支援及び漁業者や消費者のニーズを踏まえた新たな種苗生産技術の開発促進等を実施します。
 - (2) さけ・ます資源回復推進事業 376 (296) 百万円

サケの来遊数の減少要因を究明するため、河川及び沿岸域における放流サケ稚魚の生態調査、放流時期や放流手法などの改良の取組を支援します。

※ さけ・ます対策としては、別途、東日本大震災復興特別会計(復興庁計上)において、被災地における採卵用サケ親魚の確保を支援する措置を要求しています。
 - (3) 二枚貝資源緊急増殖対策事業 52 (49) 百万円

資源の減少が著しい二枚貝の人工種苗生産技術を開発するとともに、増殖手法の実証化の取組を支援します。

委託費、補助率：定額、1/2以内
委託先、事業実施主体：民間団体等
2. 養殖に関する支援事業 254 (230) 百万円
 - (1) 養殖用飼料対策事業 137 (136) 百万円

ブリ・マダイ等の主要養殖魚種における低魚粉配合飼料使用による養殖技術の確立・普及や、抜本的な生産コストの抑制手法や収入の増加に繋がる新たな養殖手法の開発を行います。また、クロマグロ人工種苗の量産化に不可欠な初期餌料の開発を行います。

養殖魚安定生産・供給技術開発事業 81 (80) 百万円
クロマグロ養殖用の高機能、高効率餌料の開発事業 56 (56) 百万円
委託費：定額、1/2以内
委託先：民間団体等

- (2) 真珠養殖業等連携強化・成長展開事業 30(一)百万円
オールジャパンで真珠養殖業等の振興に取り組むため、国・地方公共団体・事業者・研究機関等が連携強化するための協議会を整備し一丸となって行動計画を策定するとともに、次世代を担う人材を協議会が認定し、その活動の支援を行います。

補助率：定額
事業実施主体：民間団体等

- (3) 養殖技術開発関係事業 88(94)百万円
IT技術や先端フォトニクス技術を駆使した革新的な養殖技術の開発を図るとともに、二枚貝の増養殖と組み合わせたノリ養殖試験を実施します。

環境IT技術を活用した新たな養殖技術開発事業 58(65)百万円
二枚貝の養殖等を併用した高品質なノリ養殖技術の開発事業 30(30)百万円
委託費
委託先：民間団体等

3. ウナギ対策関連事業 457(457)百万円
商業化に向けたウナギ種苗の大量生産システムの実証試験を実施するとともに、国際的なウナギの資源管理の推進、ウナギの生息状況の調査、放流手法や生息環境の改善手法の開発等を行います。

ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証事業 310(310)百万円
鰻供給安定化事業 147(147)百万円
委託費、補助率：定額、3/4以内
委託先、事業実施主体：民間団体等

4. 健全な内水面生態系復元等推進事業 261(246)百万円
広域的な連携の下で行うカワウ・外来魚の生息状況調査、カワウの個体数削減に向けた駆除等の取組を支援するとともに、河川流域等における外来魚（チャネルキャットフィッシュ等）の駆除手法を開発します。

委託費、補助率：定額、1/2以内
委託先、事業実施主体：民間団体等

[お問い合わせ先：水産庁栽培養殖課（03-3501-3848）]

増養殖対策の概要

【平成29年度予算概算要求額:1,563(1,370)百万円】

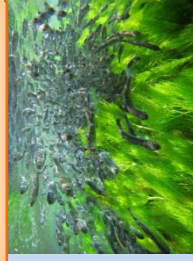
ポイント

- 広域種の資源造成実証試験や栽培対象種の開発促進、サケの回帰率向上のため放流時期や放流手法の取組を支援。
- 低魚粉配合飼料による養殖技術の確立・普及や真珠養殖業等の連携強化等、養殖業の振興に向けた取組を支援。
- 商業化に向けたウナギ種苗の大量生産システムの実証試験や国際的なウナギ資源管理措置への対応を実施。
- カワウ・外来魚の広域的な被害対策等、健全な内水面生態系の復元に向けた取組を推進。

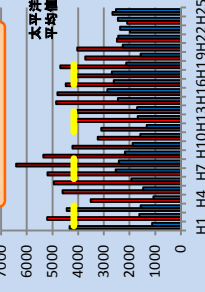
1. 増殖に関する支援事業 590(344)百万円

- 広域種の資源造成の実証支援や新たな栽培対象種の開発促進を実施 163(一)百万円
- サケの来遊数の減少要因を究明するため河川及び沿岸域における放流サケ稚魚の生態調査を実施 70(70)百万円
- サケの回帰率を向上させるための放流手法の改良や高品質な資源の造成を図る取組を支援 306(226)百万円
- 二枚貝の人工種苗生産技術の開発とともに増殖手法の実証化の取組を支援 52(49)百万円

サケ資源の回帰率向上調査



サケの来遊数



2. 養殖に関する支援事業 254(230)百万円

- プリ・マダイ等の主要養殖種における低魚粉配合飼料使用による養殖技術の確立・普及 81(80)百万円
- クロマグロ養殖用の高機能、高効率飼料の開発 56(56)百万円
- 真珠養殖業等の振興に取り組みため協議会を設置するとともに次世代を担う人材を認定・支援 30(一)百万円
- IT技術や先端フォトニクス技術を駆使した革新的な養殖技術の開発 58(65)百万円
- 二枚貝の増養殖と組み合わせたノリ養殖試験を実施し、品質向上効果等を確認 30(30)百万円

低魚粉配合飼料使用の実証試験



3. ウナギ対策関連事業 457(457)百万円

- 商業化に向けたウナギ種苗の大量生産システムの実証試験を実施 310(310)百万円
- ウナギ資源の増殖のための放流や海外の養殖業者との資源管理に関する協議に対する支援 147(147)百万円

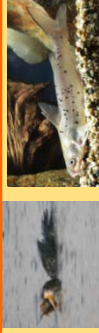
効果的な放流を実施



4. 健全な内水面生態系復元等推進事業 261(246)百万円

- 広域的な連携による推進体制の下で行うカワウ・外来魚の駆除等の取組を支援 256(241)百万円
- 河川流域等におけるチャネルキャットフィッシュ等の外来魚の駆除手法等を開発 5(5)百万円

カワウ・外来魚による食害



- ・ 国民に対する安定供給の確保
- ・ ウナギ資源の持続的利用
- ・ 栽培及び養殖魚種の生産量の回復